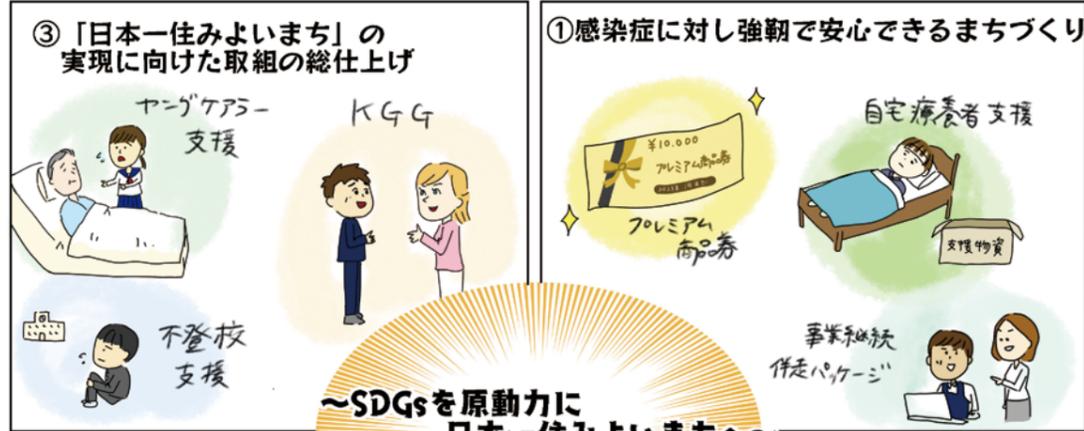


## 1 令和4年度予算について .....

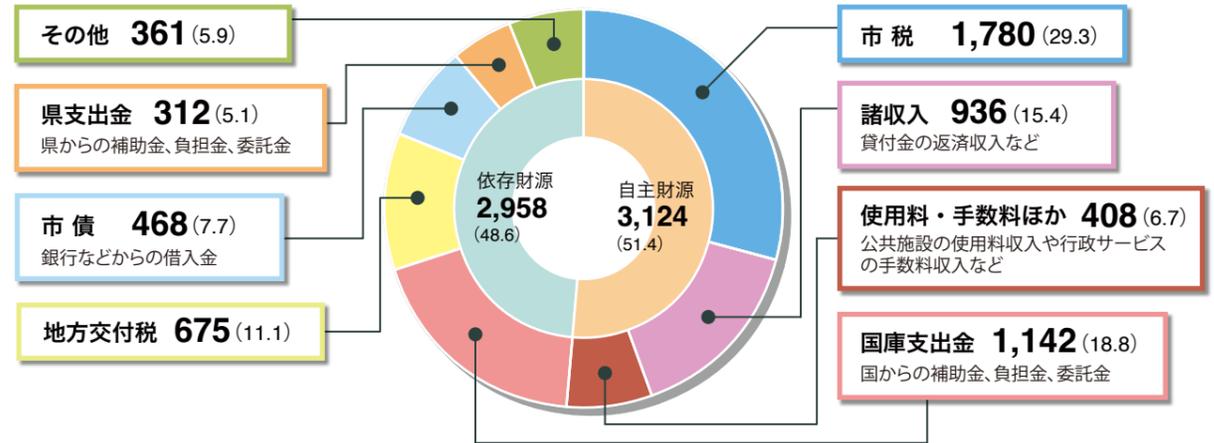


## 令和4年度当初予算(一般会計)の内訳

### 歳入予算の内訳

歳入総額 6,082億円

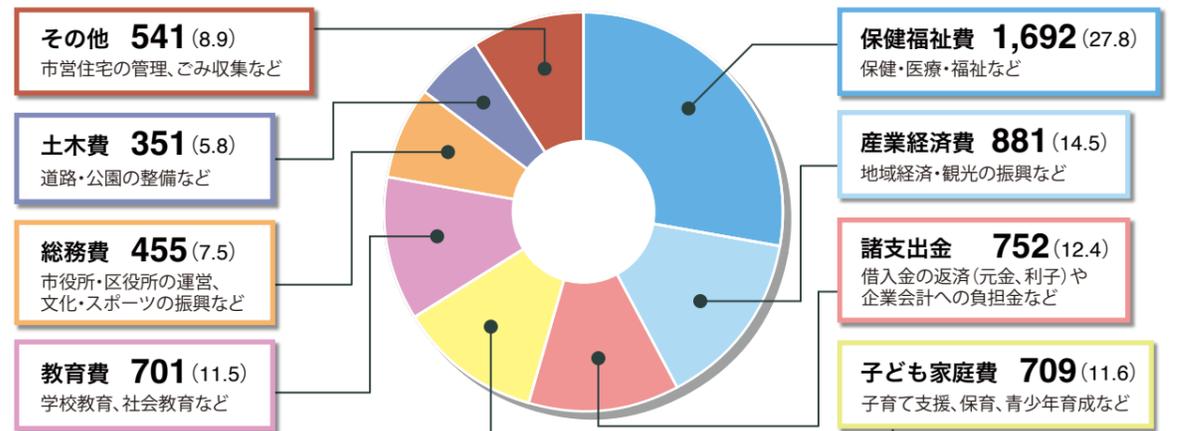
〔単位：億円〕  
〔 〕内は構成比%



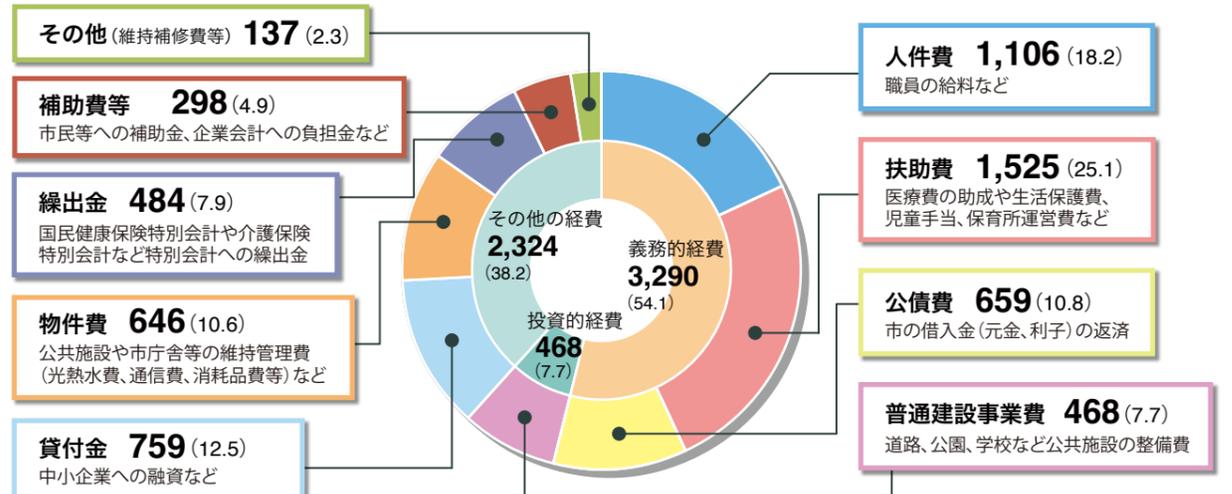
### 歳出予算の内訳

歳出総額 6,082億円

【目的別】 教育費・土木費などの「行政目的」に従って分類すると次のようになります。



【性質別】 人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようになります。





### 4 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

「北九州市DX推進計画」に基づき、デジタル技術を徹底活用してDXを推進します。まずは、市民サービスや市役所業務の抜本的な見直しについて、手続きのオンライン化をはじめとする「市民サービスの向上」やデジタルツールの活用等による「業務の効率化」、テレワークの推進等による「職員の働き方改革」などに集中的に取り組むとともに、地域全体のDXにつなげていきます。

#### デジタル・デバインド対策事業

..... 800万円

デジタル機器に不慣れな高齢者などを対象に体験型セミナーなどを開催します。

※デジタル・デバインドとは？

コンピューターやインターネットなどの情報技術を利用できる人とそうでない人の間に生じる格差。



#### 自宅で簡単に完結する「行かなくていい」行政サービスの提供

#### 手続きオンライン化推進事業

..... 600万円 など

市民が区役所等に「行かなくていい」ことを目指し、自宅や、より身近な場所で手続きが完結できるよう、手続きのオンライン化などを進めていきます。



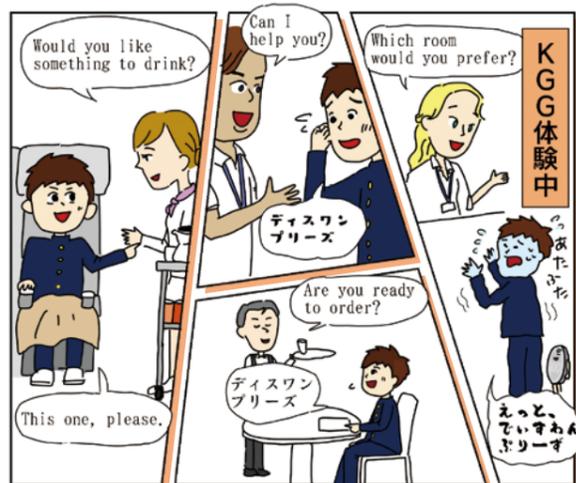
### 3 「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組の総仕上げ

SDGsを原動力に地方創生の成功モデル都市を目指すとともに、環境や健康、子育て・教育、安全・安心など、コロナ禍を通じてあらゆる分野で生じた人々の価値の変化を的確に捉え、ポストコロナの新しい生活様式に対応した「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組を進めます。

#### KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY 体験支援事業

..... 2億2,000万円

英語学習意欲の向上のきっかけとするため、市内の小・中・特別支援学校等の児童生徒が、体験型英語教育施設「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY」を体験できるよう支援します。



#### ヤングケアラー相談支援事業

..... 1,000万円

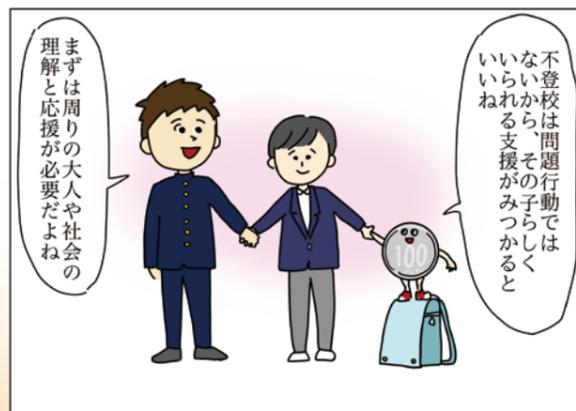
大人が担うような家族の介護や、きょうだいの世話などを行っているヤングケアラーを早期に発見するため、相談窓口を設置し、適切な支援につなげるとともに、心のケアや関係機関との連携による支援を実施します。



#### 不登校等支援センター設置事業

..... 1,200万円

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、子ども・保護者等に寄り添った支援や関係機関との連携強化を図るため、「不登校等支援センター」を新たに設置します。



## 3 中期財政見通し .....

### 中期財政見通し(一般会計)【令和4年2月改訂】

今後の市政運営の参考とするため、令和4年度当初予算を基礎として、一定の条件の下で当面5年間の試算を行ったものです。

今後の財政運営にあたっては、自主財源の確保や行政コストの縮減を図りつつ、税収の増加につながる政策に積極的に取り組むことが必要であると考えています。

(単位:億円)

項 目	令和4年度 当初予算	令和5年度 見込み	令和6年度 見込み	令和7年度 見込み	令和8年度 見込み
<b>歳入合計①</b>	<b>5,935</b>	<b>5,997</b>	<b>6,010</b>	<b>6,017</b>	<b>6,037</b>
一般財源等	2,996	3,016	3,006	3,010	3,019
市 税	1,780	1,807	1,807	1,822	1,836
地方交付税等 (臨時財政対策債を含む)	855	847	856	826	803
そ の 他 (県税交付金等)	361	362	343	362	380
国 県 支 出 金	1,454	1,446	1,459	1,472	1,484
市 債 (臨時財政対策債を除く)	288	360	360	360	360
そ の 他	1,197	1,175	1,185	1,175	1,174
<b>歳出合計②</b>	<b>6,082</b>	<b>6,156</b>	<b>6,177</b>	<b>6,215</b>	<b>6,244</b>
人 件 費	1,106	1,078	1,065	1,058	1,050
扶 助 費	1,525	1,544	1,563	1,581	1,598
公 債 費	659	654	666	691	708
うち臨時財政対策債を除く	475	461	462	472	479
投 資 的 経 費	468	620	620	620	620
維 持 補 修 費	87	88	89	90	91
繰 出 金	484	485	487	488	490
そ の 他	1,753	1,687	1,687	1,687	1,687
<b>収支差③(①-②)</b>	<b>△147</b>	<b>△159</b>	<b>△167</b>	<b>△198</b>	<b>△207</b>
決算における歳入増 ・歳出不用等④	100	100	100	100	100
収支改善見込額⑤	—	20	40	60	80
<b>年度末基金残高⑥</b> (前年度末残高+③+④+⑤)	<b>262</b>	<b>223</b>	<b>196</b>	<b>158</b>	<b>131</b>

#### 【参考】

福祉・医療関係経費 (扶助費+福祉・医療関係特別会計への繰出金)	1,989	2,009	2,030	2,049	2,068
-------------------------------------	-------	-------	-------	-------	-------